

大牟田市健康福祉総合計画（案）へ提出された市民意見とその対応

○計画に反映させたもの（2件）

提出された意見等	対応
<p>計画（案）本文に新型コロナウイルスや7月の豪雨災害が記載されていない。何故？大牟田市の新型コロナウイルス感染者は107人である。7月の豪雨災害では、高齢者の方が2人亡くなり、内水氾濫によって約1,000棟以上の住宅に被害があり、三川地区の住民の方々が被災した。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大及び令和2年7月豪雨災害により、多くの人々が大きな影響を受けています。本市では、現在「新型コロナウイルス感染症対策と地域経済の活性化」及び「災害からの復旧・復興と災害に強いまちづくり」を最優先課題としてまちづくりを進めています。</p> <p>今後、新型コロナウイルスをはじめとした新たな感染症に対しても適切な対応ができるよう、正しい情報の提供に努めます。また、新しい生活様式等の対応策を広く周知・啓発する方法の検討が必要と考えていますので、第2章基本目標2(1)「●これから考えたい取り組み」へその旨加筆します。</p> <p>なお、主な事業の一つとして、豪雨災害の被災者の生活再建を総合的に支援する「被災者見守り・相談支援事業（地域支え合いセンター）」を実施します。</p>
<p>○介護人材不足はどの事業所も起きており、若い方への興味関心を持ってもらうこと、潜在されている介護関連資格をお持ちの方の発掘など、全体を通して取り組んでいかないと人手不足でサービス提供が十分にならないことに今後陥ってしまうかもしれない。</p>	<p>福祉・介護人材の育成・確保は、課題と考えています。第1章6「取り組むべき課題」へ、人材の育成・確保が求められている旨を加筆します。</p> <p>また、ご意見を踏まえて関係者の皆様と連携しながら検討を進めていきます。</p>

○計画の推進について参考意見とするもの（3件）

提出された意見等	対応
<p>地域共生社会づくりの視点から、従来の分野別計画から分野を横断した総合的な計画を策定されました。これらの計画を推進していくためには、以下のようなことを年次計画等へ位置づけて取り組むことが必要だと思いました。</p> <p>○障がいについての基本認識を共有すること（障がいの構成要素としての機能的要素、社会的要素、本人の認識の要素等）</p> <p>○障がいのみにとらわれることなく、その人の生きがいつくり（活動の場働く場づくり等）の視点を考慮した取り組みを工夫すること</p> <p>○複合した課題への専門分野の連携した支援がスムーズに出来るような庁内外の体制づくりを整えること</p> <p>○適切な支援計画を作成するための組織化や人材育成をすること</p> <p>○住民が容易に相談できるようなシステムづくりや総合相談窓口などを整備すること</p> <p>○福祉活動への適切な関わり方の研修や活動づくりの支援を行い、ボランティア活動等を推進すること</p>	<p>各事業は、大牟田市総合計画及び本計画等に基づき、毎年度具体的な計画をたてて、予算編成を行い、実施しています。</p> <p>ご意見は、具体的な計画をたてる際の参考にさせていただきます。</p> <p>なお、本計画の進捗管理につきましては、健康福祉推進会議にて各事業の実績や計画を確認して、調査審議を行う予定です。</p>
<p>【地域包括支援センターについて】</p> <p>○P67の地域包括支援センターの委託の方法のところでの他のことを検討とあるが、基本的には地域包括支援センターは行政が運営に引き戻すことが必要。</p> <p>○地域包括支援センターへの期待・業務が増えすぎており、総合相談（複雑なケース）等を中心にするなど取組みを絞っていかないと地域包括ケアシステムの構築にエネルギーをさくことができないのではないか。</p>	<p>地域包括支援センターの事業主体は市であり、本市では法人に委託する運営形態を中心として事業を実施しています。運営形態につきましては、いただきましたご意見も踏まえて今後も引き続き検討を行います。</p> <p>地域包括支援センターには、複合的な課題を抱えた世帯からの相談等も多くなっていますので、関係機関と連携しながら支援を行っています。また、増加する相談対応につきましては、人員体制を含めて検討を行います。</p>
<p>【介護予防】</p> <p>○介護予防事業の実施や基準緩和型サービスを増やす件でも事業者や住民の認識アップが中心で、サービス量が増えない原因や増やす取り組みなどが必要ではないか。</p>	<p>介護予防事業や基準緩和型サービスの充実が課題と考えていますので、関係者の皆様と連携し、充実に向けた取組みを進めていきます。</p>